



共 育

活躍する経験が自信に繋がる

2月22日（月）に6年生を送る会を行いました。当日は、たくさんの保護者の皆さんにお越しいただき、感染症対策にご協力いただきながら温かく見守っていただきました。本当にありがとうございました。

各学年の出し物を見ていると、着実な成長を感じ取ることができました。そして、子どもたちが準備からとても頑張っていたので、6年生をはじめ、みんなが楽しい時間を過ごすことができました。

行事は、子どもたちが「学校で楽しい時間」と感じていることの一つだと思います。役割が与えられ、みんなで協力しながら練習を積み重ねるごとに（保護者の皆さんの励まし等も含め）上達を実感し、生き生きとした表情が増えてきます。そして、本番では練習してきた成果を発揮し、活躍することで達成感や充実感を得ることができ、自信が楽しさに繋がっていくのではないのでしょうか。

自信ができると今までより積極的に行動することができます。新しいことにチャレンジする時、「出来ないかもしれない」から「出来るかもしれない」とポジティブな考え方を持てるようになります。また、もし失敗しても「知らないことだったから最初は出来なくて当たり前」ときちんと自分をコントロールできるので、「次は出来るように頑張ろう」と気持ちを切り替えて再チャレンジすることが出来ます。

行事や活動を行った後、ぜひ、ご家庭で話をし、自信になったことを聞いて欲しいと思います。



小学生が感じる「楽しい時間」とは

小学生は何をしているときに最も楽しいかを尋ねた調査（学研教育総合研究所「小学生の日常生活・学習に関する調査」2020年公開）では、1位テレビゲーム・携帯ゲーム 34.1%、2位友達とおしゃべり 27.0%、3位外遊び 26.7%、4位テレビ 19.8%、5位家族と遊ぶ 18.0%・・・という結果が出ています。

男女別では、男子が1位テレビゲーム・携帯ゲーム、2位外遊び、3位テレビで、女子が1位友達とおしゃべり、2位外遊び、3位家族と遊ぶでした。